

## ●漁況情報

- 3月31日、長井町漁協所属漁業者のトラフグ延縄漁で1隻当たり20～30尾の漁がありました。当日は、延縄漁を営む漁業者グループ「福会」の会長 丸八丸さんが、8kgのトラフグを釣揚げ、ここ3年間の間で一番の大物だったそうです。当センター担当研究員も「県下の他地区でも、これほど大きなトラフグは見たことがない!」とのことでした。なお、今漁期も昨年引き続き魚価が低迷しており、3月に入って若干持ち直したものの、平成31年の魚価と比べると半値以下だそうです。



8kgの丸々と太ったトラフグ

## ●浜の話題

- 3月中旬以降、小坪漁協大竹組合長と座間指導漁業士は、テレビ東京の取材を受けました。小坪の養殖ワカメ漁や、昨年より着手したキャベツウニ、座間指導漁業士が経営するイタリアンレストラン「ラ・ベルデ」について取材を受け、5月8日(土)の「出沒! アド街ック天国 逗子特集」で放映予定なので、ぜひご覧下さい。

出沒! アド街ック天国ホームページ <https://www.tv-tokyo.co.jp/adomachi/>

- 3月17日、長井町漁協所属漁業者は1月下旬から収穫できる早ワカメ品種の種付けを実施しました。当日は、採苗水槽に透明のフィルムを張って、ワカメ遊走子の活性が高まる16℃以上まで水温が上がるよう工夫し、顕微鏡下でもメカブから放出された遊走子が活発に動く様子が確認できました。種付け後2週間は種苗育成小屋内を明るく保ち、初期成長を促します。



ワカメ種付けの様子 顕微鏡(100倍)画像 無数に粒状に見える遊走子

- 3月18日、小田原市漁協遊漁船部会が、キンメダイの標識放流調査を実施しました。部会員が2隻の漁船に分かれて出船し、真鶴沖で釣獲した小型のキンメダイに標識（黄色い棒状でKN000と書いてます）を装着し、再放流しました。標識の付いたキンメダイを漁獲された方は、小田原市漁業協同組合か担当地区の普及指導員に連絡願います。



標識を付けたキンメダイ

- 3月23日、みうら漁協金田湾地区のワカメ種苗生産者は、養殖ワカメ用の種苗について、猿島系と長崎系、2系統の種付けを実施しました。当日は、今年から新たにワカメ種苗生産に取り組む小坪地区の漁業者が視察に訪れ、金田湾の熟練したワカメ種苗生産者に、種苗生産～育成のポイントについて教えて頂きました。



長崎系メカブ(右)のヒダは並列に並ぶのに対し猿島系(左)は入組んで複雑な形状を成します

- 3月23日、三和漁協城ヶ島支所所属の石橋指導漁業士（英樹丸）は、NPO 法人海の森・山の森事務局が主催する海底の清掃活動に参加しました。当日は地元ダイビングショップのダイバーなど合計10名が、海底に沈むゴミを陸上に引き上げました。回収されたゴミは合計約250kgもあり、中には家具などの大型ゴミも捨ててあったそうです。



海底に沈む大型ゴミ



陸上に引き上げられたゴミの山

- 3月24日、横須賀市東部漁協浦賀久比里支所の漁業者がワカメ種系への種付けを行いました。ワカメのメカブを干して海水に浸けると、そこから遊走子（種や胞子のようなもの）が煙のように放出され、枠に巻いた糸に付着させて種系となります。横須賀市東部漁協の各浜でワカメ種付けが始まっていますが、同日は長崎系統の種付けでした。長崎系統は肉厚で色が黒々しています。県内では色々な系統のワカメが養殖されていますが、それぞれの特徴を活かした製品づくりがなされています。



長崎系統のメカブ

- 3月24日、相模湾試験場は、小田原市漁協所属漁業者の協力で、相模湾でのマガキ養殖の可能性について調査するため、小田原市根府川沖でマガキ養殖試験を実施しています。3月15日に横須賀市東部漁業協同組合から購入したマガキ種苗を約200個ずつ籠に入れ、一方は定期的に干出し、もう一方は垂下したままで養殖し、成長具合や付着物の状況などの差異を見ていく予定です。
- 3月25日、藤沢市漁業協同組合は、藤沢市の補助を受け、チョウセンハマグリ稚貝の放流体験イベントを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。そのため、漁業者だけで、鵜沼海岸沖の水深4mへ、1,200個を放流しました。



放流するチョウセンハマグリ種苗

- 3月25~26日、佐賀県玄海水産振興センター及び国立研究開発法人水産研究・教育機構（開発調査センター）の調査員が、(有)二宮漁場の両中層と小田原市漁協の落網の定置網の視察をしました。26日には、小田原市漁協の活魚出荷を視察しました。調査員は、各定置網の構造や漁獲される魚種の違い、長所と短所や活魚出荷の具体的内容等について、漁業者から聞き取り等を行っていました。



水産研究・教育機構の視察（二宮漁場）



活魚出荷の視察（小田原市漁協）

- 2月から3月にかけて、鎌倉漁協所属 長四郎丸 加藤さんが、NHKの取材を受けました。長四郎丸さんが、江戸時代から継承して営んでいる地曳網漁を始めとして、エビ網漁、タコかご漁についても取材を受けたそうです。当日の様子は、4月30日(金)21時からのNHK BSプレミアム「新日本風土記」の鎌倉特集で放映されるそうです。

番組ホームページ <https://www4.nhk.or.jp/P5191/>